

第一次世界大戦と日本社会の変化

*1
ドイツの同盟国オーストリアの皇太子が、親ロシアのセルビアの青年に暗殺された事件です。

*2
日本は、ドイツが中国・山東省にもつ拠点などを攻撃、占領しました。

*3
ドイツが中国で持っている利権を譲り受けたり、日本が満州で持っている利権を確保・拡大することなどを認めさせる内容でした。

*4
日本は世界第三位の海運国に成長します。急に大金持ちになる船成金が現れます。

*5
黒字になった理由は、ヨーロッパ主要国の貿易が戦争で中断し、日本が対中国貿易を急速に伸ばしたこと、戦争に伴う需要で欧米諸国への輸出が増えたことです。また輸入に頼っていた化学工業製品も国内で生産するようになりました。

*6
重化学工業の成長により、工業生産額が農業生産額を追い越します。

*7
製糸業などでは未成年の少女たちの労働によって支えられていました。男子熟練工、さらにはサラリーマンなども増加しました。

● 日露戦争後、ヨーロッパでは新興国ドイツと、イギリス・フランス・ロシアの①との対立が激化、1914年の②事件*1をきっかけに、第一次世界大戦が発生、1917年にはアメリカも協商側で参戦します。

● 日本は日英同盟を理由に参戦*2、1915年には、中国に③をつきつけ、強い反発をうけました。*3

● 1917年、④革命が発生、ソヴィエト政権による社会主義国家(のちのソ連)が成立しました。これにたいし、アメリカなどがソヴィエト政権を倒そうとして革命干渉戦争を起こしました。日本も、これに応じて⑤を実施しますが失敗、撤退をしました。

● 第一次世界大戦は、⑥景気をもたらしました。

大戦景気の影響

- 造船業と海運業の成長*4
- 船の材料となる製鉄業の発達
- 重化学工業の発達
- 貿易収支が赤字から黒字へ転換*5

● 日本は、これまでの⑦国から工業国にかわり、都市化もすすみました。*6

工業では、これまでの⑧業⑨業に加え、重化学工業も成長しました。*7

● 高等教育の拡充もあって、⑩など都市の中間層が増えました。女性も一部の職業に進出し、職業婦人と呼ばれました。文化面では大衆化が進みます。一冊1円という安価な円本や岩波文庫も刊行され、1925年には⑪放送が始まります。映画や新聞なども広まります。

● 生活の欧風化もすすみ、都市近郊などには洋風の設備を取り入れた⑫が登場します。